

生きがいと安心して暮らせる町をめざして

奥尻町議会議長 麓 敏也



町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。平成二十五年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、豪雪に始まり、夏の猛暑、そして秋から冬にかけての低気圧による異常気象と自然環境の猛威に脅かされた一年だったように感じております。そういった環境の影響もあり、基幹産業である漁業の水揚げ高の低迷など、島の経済にとつては、大きな痛手となっている現状で危機感を感じております。

そして、東日本大震災から早二年が経過しようとしておりますが、まだまだ被災地の復興には長い年月が要されると思われまます。そうした中で、昨年も奥尻町へ東北地方の被災地、また、これから起こりえると予測さ

れる東南海トラフ地帯の地震対策として全国各都道府県から議員団の方々が地震津波災害に対する復旧、復興までの取り組みや人工地盤などの津波対策施設の視察研修に多数来町しました。

奥尻町も、北海道南西沖地震から今年で二十年目の節目の年を迎えます。

あらためて、様々な自然災害が起こったとしても、最大限の努力のもとで、最小限の被害で留められるよう日常の暮らしの中で子供やお年寄りの人達をいち早く避難させることが重要になってくるものと思っております。

行政が中心となって地域の各団体や組織とともに情報の共有や意思疎通に取組み、いかなる時でも機能できる体制を継続できるよう努力して参りたいと考えております。また、少子高齢化により、

三千人の人口を割ろうとしている現状をしっかりと受け止めた後継者の育成や、雇用の場の確保に繋がる産業振興に、あらゆる世代間を超えた知恵や意識を結集して、この島を守っていかねければと切実に感じております。

島民が、「生きがいと安心して暮らせる町」を目指すには、町民自らの努力も大事であり、行政・議会もこれまで以上の頑張りや団結が必要となります。

終わりに、町民皆様のご指導とご協力をなお一層賜りますようお願いいたします。

新しい年が皆様にとりましてより良い一年になりますようにお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦

奥尻町議会

副議長・総務産業常任委員・
檜山広域行政組合理議会議員・
議会選出監査委員

青坂賢二

総務産業常任委員長・広報編
集特別委員長・議会運営委員

制野征男

総務産業常任副委員長・広報
編集特別副委員長

齋藤伸彦

総務産業常任委員

上野弘安

議会運営委員長・総務産業常
任委員・広報編集特別委員

寅尾裕志

総務産業常任委員

紀伊国俊美

議会運営副委員長・総務産業
常任委員・檜山広域行政組合
議会議員

工藤勇

事務局長 小山和恭

他職員一同